NO 121（2012年10月・11月） たんぽぽだより 検索

暮らし・福祉・教育優先の市政をめざして
みんなが 住んでよかった と思える川西市に・・・

たんぽぽだより

日本共産党川西市議会議員 黒田みち
市会議員団控え室 TEL740-1111(内線4020)
直通FAX759-1811
黒田みち事務所 TEL 795-4760
たんぽぽだよりブログ
http://kurodamich.exblog.jp

国民健康保険事業、一般会計からの繰入れなど抜本策を追及

住民負担増２億円、国保税値上げにより不認定（反対）

２０１１（Ｈ２３）年度会計決算委員会が１０月２日から５日間開かれ、国民健康保険や用地、中央北地区など６つの特別会計と一般会計の決算審査が行われました。

国民健康保険特別会計

国の予算削減で悪循環

国民健康保険事業は、憲法２５条に基づく社会保障制度。国保法第１条で社会保障及び国民保健のための制度と規定し、第４条で運営責任は国にあるとしています。しかし、国は責務を果たさずに予算を減らし、保険税値上げを招いて恒常的に滞納者を出し続ける悪循環制度となっています。

払えない世帯が増加

川西市の国保加入者は、Ｈ２３年度末で２４３４１世帯（市全体の３６．１％）、４２３７８人（同２６．４％）。この間、保険税の値上げや収入減などで「保険税が払えない」「払うと生活が苦しい」「保険証はあるが窓口負担がきつく病院に行けない」など深刻な状況に拍車がかかっています。

近隣市並みの繰り入れを

私達日本共産党議員団は、近隣市並みに一般会計からの法定外繰り入れを行い、値上げをすべきではないと要求してきました。しかし市はこれまでやってきた繰り入れもやめ、この年度は大幅値上げをしたものの赤字を繰り返した決算となりました。

一般会計から繰り入れを

私（黒田）は、担当窓口では住民の相談に丁寧に応じているものの、所得の１割を超える保険税世帯もあり窓口対応だけでは限界があること。市として抜本的な予算措置が必要不可欠であるのに一般会計からの繰り入れをせず、住民に約２億円もの負担増を押し付けたことなどを理由に、決算不認定（反対）の立場を取りました。

賛否同数、委員長決済で認定

委員１３人のうち、不認定は土田、津田、福西、北上、吉富、黒田の６人、認定は久保、梶田、大﨑、江見、松田、森本の６人。同数でしたが、大矢根委員長が認定としたため委員会として認定となりました。１０月２６日の最終本会議で採決されます。

中央北地区・区画整理事業

１６億円の土地は半値以下で換地へ

６３６７．７７㎡の土地を１６億円（平均２５１２６５円／㎡）で用地先行取得事業特別会計から中央北地区土地区画整理事業特別会計で購入するという決算。

身内で簿価取引

川西市では、Ｈ１８年度から健全化計画と称して先行取得していた土地を市開発公社から用地先行取得事業特別会計に移していました。今回、中央北地区開発を進めるため中央北特会に移す６３６７．７７㎡の土地を１６億円もの。いわば、身内間の簿価（土地購入費と地方債の利子を含む）取引きのため、表面上は、損をしないように見えます。

区画整理後１２．３万円

しかし、中央北地区で区画整理事業（減歩や換地）を行う場合、１６億円の土地の価値が担保されるのかを問いただすと、「区画整理後は１２３０００円／㎡での換地」ということが明らかになりました。結局、市民の財産である１６億円の土地は、半分以下の価値で開発に消えていくことになります。

市民の財産　投げ捨て

認定できない

市債発行、返済はもちろん市民の税金で行われます。財政が厳しいといいながら、「聖域」となっている中央北地区開発のあり方は納得できないと決算は不認定（反対）としました。不認定は、黒田のみでした。

今後、中央北地区開発のために約１００億円かけるとしていますが、中央北地区一極集中の税金投入のあり方は大問題です。

「川西病院どうなるの？」

市政報告会で活発な話しあい

「黒田みち市政報告会」を１０月１２に開催しました。兵庫６区吉見あきひこ国政委員長から消費税増税の問題など国政のお話を伺った後、私（黒田）から９月議会・決算委員会の報告、参加者と懇談させていただきました。

市立川西病院の問題が大きな話題になりました。参加者から「医師の退職、医師不足の理由は」「なぜ赤字？」「これからどうなるの」など質問が相次ぎ、活発に話されました。私の方から、この間の国の医療制度改革や市の改革プラン策定の問題点を明らかにし、現在行われている「あり方検討委員会」の中で、「北部医療の存続を死守すること」が委員の総意であることなどを伝えました。

また、市の街づくりの根幹である総合計画やマスタープランなどのパブリックコメントを募集しているので、大いに意見を述べ、注視してほしいとお願いしました。

黒豆の声

許せない！

東日本大震災の復興予算が全く違う所に使われていた。

震災から１年７か月
生活再建も産業復旧も
進んでいない被災地
自治体庁舎の改修も
手つかず・・・。
それなのに
東京・霞が関の中央官庁
耐震化に億の予算
北海道や長野県にある
自衛隊駐屯地の浴場建替費用
国民監視のための自衛隊
情報保全隊デジカメ購入費
南極での反捕鯨団体
シーシェパード対策費
「産業空洞化対策」補助金
交付先はトヨタやシャープなど大企業が８割

民主・自民・公明党で談合して成立させた「復興基本方針」が「防災・減災」と名目さえつければ何でもありだから。

被災者の生活再建よりも財界・大企業を支える「新成長戦略」１１年度第３次補正予算は日本共産党だけが反対した。

国民が騒ぎ出してから
とりつくろうため右往左往する政党・・・
もういいかげんにしてほしい。
被災地
被災者の声を聴け
当たり前の復興を行え！
もう国民をごまかすな！

１０月１９日政党助成金３回目受け取り・・・
自民党２５億３８５０万円
公明党５億６９７９万円・・・と続く・・・。
誰のための政治か！！

ご意見・ご要望をおきかせください。黒田みち連絡先（＾―＾）０９０－９９８７－７９０９